

| | | | | | | | |
|---|---|----------|----|-------------|----------|------|---------------|
| 科目名 | 基礎きゅう実技 Basic Moxibustion Practical Skills | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1年次 | 担当教員 | 前田 見太郎/王子 由佳里 |
| 学科・コース | 鍼灸科 | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 120 4 | 開講区分 | 前期 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>基礎きゅう実技ではきゅう術の基本的操作の修得を図りながら、日常的な臨床で使用する基本的な施灸技術を身につける。きゅう術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。</p> <p>①きゅうの基礎知識 ②灸術の種類 ③灸の臨床応用 ④リスク管理</p> <p>実務実績 王子 POSC、光ヶ丘鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資 格 はり師・きゅう師</p> <p>実務実績 前田 付属治療院での患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資 格 はり師・きゅう師</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| <p>①きゅう術の基本的な操作を行うことができる。</p> <p>②正確かつ安全に施灸操作を行うことができる。</p> <p>③日常臨床で使用するきゅう法と種類を理解する。</p> <p>④実技における身だしなみについて理解する。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | 施術室(実技室)の管理、施術上の諸注意について説明できる。灸術の定義、灸術の材料(鑑別を含む)について説明できる。 |
| 2回目 | 灸術の種類と目的について説明できる。灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、立て方)の実技を行う。 |
| 3回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、立て方)の実技を行う。 |
| 4回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、立て方)の実技を行う。 |
| 5回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方)の実技を行う。 |
| 6回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方)の実技を行う。 |
| 7回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方)の実技を行う。 |
| 8回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の硬さ、大きさ、点火方法に注意する。 |
| 9回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の硬さ、大きさ、点火方法に注意する。 |
| 10回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の硬さ、大きさ、点火方法に注意する。 |
| 11回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の硬さ、大きさ、点火方法に注意する。 |
| 12回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の硬さ、大きさ、点火方法に注意する。 |
| 13回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、半米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の硬さ、大きさ、点火方法に注意する。 |
| 14回目 | 灸の操作手順(半米粒大の艾炷作成)について到達度確認を行う。 |
| 15回目 | 灸の操作手順(半米粒大の艾炷作成)について到達度確認を行う。 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業の学習内容に記載している①～④に関しては教科書ならびに参考図書に熟読した上での受講が望ましい。 J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、刺鍼練習台を利用し練習を行うこと。 |
| 評価方法 | 成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。 |
| 受講生へ のメッセ ージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| <p>教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版</p> <p>参考書 図解 鍼灸療法技術ガイド 文光堂 出版</p> <p>J-WEB 動画配信コンテンツ</p> | |

| | | | | | | | |
|---|---|----------|----|-------------|----------|---------------|---------------|
| 科目名 (英) | 基礎きゅう実技 Basic Moxibustion Practical Skills | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1年次 | 担当教員 | 前田 見太郎/王子 由佳里 |
| 学科・コース | 鍼灸科 | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 120 4 | 開講区分 曜日・時限 | 前期 |
| 【授業の学習内容】 基礎きゅう実技ではきゅう術の基本的操作の修得を図りながら、日常的な臨床で使用する基本的な施灸技術を身につける。 きゅう術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。 ①きゅうの基礎知識 ②灸術の種類 ③灸の臨床応用 ④リスク管理 実務実績 王子 POSC、光ヶ丘鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資 格 はり師・きゅう師 実務実績 前田 付属治療院での患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資 格 はり師・きゅう師 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ①きゅう術の基本的な操作を行うことができる。 ②正確かつ安全に施灸操作を行うことができる。 ③日常臨床で使用するきゅう法と種類を理解する。 ④実技における身だしなみについて理解する。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---|--|
| 16回目 | 灸療法の刺激量、禁忌、過誤と副作用について説明できる。灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、米粒大の艾炷作成、立て方)の実技を行う。 |
| 17回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の大きさ、硬さ、点火方法に注意する。 |
| 18回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の大きさ、硬さ、点火方法に注意する。 |
| 19回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の大きさ、硬さ、点火方法に注意する。 |
| 20回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の大きさ、硬さ、点火方法に注意する。 |
| 21回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、米粒大の艾炷作成、立て方、点火方法)の実技を行う。※艾炷の大きさ、硬さ、点火方法に注意する。 |
| 22回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、 <u>米・半米粒大</u> の艾炷交互施灸、立て方)の実技を行う。※艾炷の大きさ、硬さ、点火方法に注意する。 |
| 23回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、 <u>米・半米粒大</u> の艾炷交互施灸、立て方)の実技を行う。※艾炷の大きさ、硬さ、点火方法に注意する。 |
| 24回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、 <u>米・半米粒大</u> の艾炷交互施灸、立て方)の実技を行う。※艾炷の大きさ、硬さ、点火方法に注意する。 |
| 25回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、 <u>米・半米粒大</u> の艾炷交互施灸、立て方)の実技を行う。※熱痛覚の軽減の仕方、燃焼後の灰の処理法を含む |
| 26回目 | 灸の操作手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、 <u>米・半米粒大</u> の艾炷交互施灸、立て方)の実技を行う。※熱痛覚の軽減の仕方、燃焼後の灰の処理法を含む |
| 27回目 | その他灸法について説明できる。温灸、隔物灸など各種灸法を行う。 |
| 28回目 | 灸の操作手順(米粒大の艾炷作成)について到達度確認を行う。 |
| 29回目 | 灸の操作手順(米粒大の艾炷作成)について到達度確認を行う。 |
| 30回目 | 灸の操作手順(半粒大の艾炷作成)について到達度確認を行う。 |
| 準備学習 時間外学 習 | 授業の学習内容に記載している①～④に関しては教科書ならびに参考図書に熟読した上での受講が望ましい。 J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、刺鍼練習台を利用し練習を行うこと。 |
| 評価方法 | 成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。 |
| 受講生へ のメッセ ージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版 参考書 図解 鍼灸療法技術ガイド I 文光堂 出版 J-WEB 動画配信コンテンツ | |

| | | | | | | | |
|---|---|----------|----|-------------|----------|---------------|---------------------------|
| 科目名 (英) | 基礎きゅう実技 Basic Moxibustion Practical Skills | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1年次 | 担当教員 | 前田見太郎/王子由佳里 阪本尚美/山上 安司 |
| 学科・コース | 鍼灸科 | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 120 4 | 開講区分 曜日・時限 | 後期 |
| <p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基礎きゅう実技ではきゅう術の基本的操作の修得を図りながら、日常的な臨床で使用する基本的な施灸技術を身につける。 きゅう術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。 ①きゅうの基礎知識 ②灸術の種類 ③灸の臨床応用 ④リスク管理 実務実績 王子 POSC、光ヶ丘鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資格 はり師・きゅう師 実務実績 阪本 付属治療院やPOSC、よこい鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資格 はり師・きゅう師 実務実績 前田 付属治療院での勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資格 はり師・きゅう師 実務実績 山上 やまがみ鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資格 はり師・きゅう師</p> <p>【到達目標】 ①きゅう術の基本的な操作を行うことができる。 ②正確かつ安全に施灸操作を行うことができる。 ③日常臨床で使用するきゅう法と種類を理解する。 ④実技における身だしなみについて理解する。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|----------------|---|
| 31回目 | 灸施術に関わるリスク管理(熱傷、化膿など感染症対策)について説明できる。人体(下肢)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 32回目 | 灸療法の過誤と副作用に対する処置を説明できる。人体(足部)へ透熱灸を交互に行う。 |
| 33回目 | 人体(足部)へ透熱灸を交互に行う。 |
| 34回目 | 人体(下肢)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 35回目 | 人体(足部)へ透熱灸を交互に行う。 |
| 36回目 | 人体(下肢)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 37回目 | 人体(足部)へ透熱灸を交互に行う。 |
| 38回目 | 人体(下肢)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 39回目 | 人体(足部)へ透熱灸を交互に行う。 |
| 40回目 | 人体(足部)への透熱灸について到達度確認を行う。 |
| 41回目 | 人体(下肢)へ知熱灸について到達度確認を行う。 |
| 42回目 | 人体(足部)への透熱灸について到達度確認を行う。 |
| 43回目 | 人体(下肢)へ知熱灸について到達度確認を行う。 |
| 44回目 | 人体(下肢)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 45回目 | 人体(足部)へ透熱灸を交互に行う。 |
| 準備学習 時間外学習 | 教科書 経絡経穴概論を参考に下記経絡の経穴名、取穴部位を予習しておくことが望ましい。 足の少陽胆経(下肢の部分)、足の少陰腎経(下肢の部分)、足の陽明胃経(下肢の部分、督脈 施灸板にて半米粒大、米粒大の艾炷作成、点火の練習をすることが望ましい。※確認事項(大きさ、硬さ、立て方、燃焼速度) J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、施灸板を利用し練習を行うこと。 |
| 評価方法 | 成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| 教科書 | はりきゅう理論 医道の日本社 出版 |
| 参考書 | 図解 鍼灸療法技術ガイド I 文光堂 出版 |
| J-WEB | 動画配信コンテンツ |

| | | | | | | | |
|---|---|----------|----|-------------|----------|------|------------------------------|
| 科目名 (英) | 基礎きゅう実技 Basic Moxibustion Practical Skills | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1年次 | 担当教員 | 前田 見太郎/王子 由佳里 阪本 尚美/山上 安司 |
| 学科・コース | 鍼灸科 | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 120 4 | 開講区分 | 後期 |
| 【授業の学習内容】 基礎きゅう実技ではきゅう術の基本的操作の修得を図りながら、日常的な臨床で使用する基本的な施灸技術を身につける。 きゅう術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。 ①きゅうの基礎知識 ②灸術の種類 ③灸の臨床応用 ④リスク管理 実務実績 王子 POSC、光ヶ丘鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資格 はり師・きゅう師 実務実績 阪本 付属治療院やPOSC、よこい鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資格 はり師・きゅう師 実務実績 前田 付属治療院での勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資格 はり師・きゅう師 実務実績 山上 やまがみ鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資格 はり師・きゅう師 | | | | | | | |
| 【到達目標】 ①きゅう術の基本的な操作を行うことができる。 ②正確かつ安全に施灸操作を行うことができる。 ③日常臨床で使用するきゅう法と種類を理解する。 ④実技における身だしなみについて理解する。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 46回目 | 経穴の組合せによる予防治療(胃の六つ灸、小児斜差の灸)の取穴部位、主治について説明できる。胃の六つ灸、小児斜差の灸の実技を行う。 |
| 47回目 | 経穴の組合せによる予防治療(中風七穴、脚気八処の穴)の取穴部位、主治について説明できる。中風七穴、脚気八処の穴の実技を行う。 |
| 48回目 | 吸角の種類、目的について説明できる。吸角の基本操作方法を行う。 |
| 49回目 | 人体(頭部)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 50回目 | 人体(腰部)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 51回目 | 人体(頭部)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 52回目 | 人体(腰部)へ知熱灸の実技を行う。 |
| 53回目 | 伝統的灸法①深谷灸法 |
| 54回目 | 伝統的灸法②深谷灸法 |
| 55回目 | 伝統的灸法③深谷灸法 |
| 56回目 | 伝統的灸法④深谷灸法 |
| 57回目 | 伝統的灸法⑤深谷灸法 |
| 58回目 | 人体(足部)への透熱灸について到達度確認を行う。 |
| 59回目 | 人体(下肢)への知熱灸について到達度確認を行う。 |
| 60回目 | 人体(腰部)への知熱灸について到達度確認を行う。 |
| 準備学習 時間外学 習 | 教科書 経絡経穴概論を参考に下記経絡の経穴名、取穴部位を予習しておくことが望ましい。 手の陽明大腸経(前腕の部分)、足の少陽胆経(下肢の部分)、足の少陰腎経(下肢の部分)、足の陽明胃経(下肢の部分)、足の太陽膀胱経(腰部)、督脈 施灸板にて半米粒大、米粒大の艾炷作成、点火の練習をすることが望ましい。※確認事項(大きさ、硬さ、立て方、燃焼速度) J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、施灸板を利用し練習を行うこと。 |
| 評価方法 | 成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版 参考書 図解 鍼灸療法技術ガイド I 文光堂 出版 J-WEB 動画配信コンテンツ | |